

令和7年度第9回教育研究評議会議事録

日 時 令和7年12月10日(水)
開会 午後3時05分
閉会 午後4時11分
場 所 第1会議室(オンライン会議併用)
出席者 榮坂学長、長谷山理事長、米澤理事、村田副学長、川口副学長、
平山副学長、川村副学長、星野副学長、森田教授、新井教授、佐藤教授、
八久保教授、黒河教授、大津教授、澤田教授、三浦教授、奥山事務部長、
南教授、榊井教授、高橋教授、小西教授
欠席者 内島教授、升井教授
陪 席 柏木監事、布施監事、伊藤監事、近藤監事

議 事

1 教員の選考について

(1) 基礎教育系准教授の選考について

学長から、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の澤田教授から別紙(資料1-1)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第6条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、豊川永喜氏が准教授適格者として承認された。

なお、審議において次の質疑応答があった。

・今回の准教授の昇任について、原則は5年のところ4年での昇任となっているが理由はあるのか、また今後の昇任についても似たような事例があれば可能なのかとの質問があり、学部改組に伴い、数学教員の研究や教育への拡充が必要となっているためであること、また、今回は当該教員の業績を鑑みて総合的に判断したものであり、あくまで原則は5年であるとの回答があった。

(2) 地域国際系准教授(マネジメント工学分野)の選考について

学長から、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長代理の川口副学長から別紙(資料1-2)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第6条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、TANG YI氏が准教授適格者として承認された。

(3) 応用化学系助教の選考について

学長から、選考委員会から選考結果について報告があった旨説明があり、選考委員会委員長の新井教授から別紙(資料1-3-1～1-3-2)に基づき、選考の経過及び結果について報告があった。

引き続き、教育研究評議会規程第6条第2項の規定に基づき可否投票を行った。
投票の結果、Zorig Anuu氏が助教適格者として承認された。

(4) 情報通信系教授選考委員会の設置について

学長から、情報通信系長から教員選考の申し出があり、令和7年12月8日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、別紙(資料1-4)に基づき選考委員会の設置について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(5) 基礎教育系教授選考委員会の設置について

学長から、基礎教育系長から教員選考の申し出があり、令和7年12月1日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、別紙（資料1－5）に基づき選考委員会の設置について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

2 大学院担当教員の選考について

(1) 情報通信工学プログラム、共創工学専攻

学長から、議題1－(1)で審議のあった豊川永喜氏の大学院担当教員の選考について提案する旨説明があり、別紙（資料2－1）に基づき説明の後、可否投票を行った。

投票の結果、豊川永喜氏が大学院担当教員（M合及びD合）として承認された。

(2) マネジメント工学プログラム

学長から、議題1－(2)で審議のあったTANG YI氏の大学院担当教員の選考について提案する旨説明があり、別紙（資料2－2）に基づき説明の後、可否投票を行った。

投票の結果、TANG YI氏が大学院担当教員（M合）として承認された。

なお、審議において次の質疑応答があった。

・当該教員の担当専門分野が社会実装マネジメントと記載されているので、大学院の担当教員資格再審査における分類は地域国際系社会実装マネジメント工学分野となるという認識でよいのかとの質問があり、あくまでも大学院における担当専門分野であり、当該教員の系における専門分野は産学官連携マネジメント工学分野であるとの回答があった。

3 大学院担当教員の資格再審査について

大学院担当教員資格再審査委員会委員長の村田副学長から、本件は令和7年11月5日開催の教育研究評議会において現状資格の変更が承認された教員2名のうち1名から過去5年間の研究業績について、申告漏れが判明したことに伴う補正審査の申し出があった旨説明の後、別紙（資料3、参考資料）に基づき当該委員会の審査結果について説明があった。

引き続き、大学院担当教員資格再審査に関する申合せに基づき、現状資格の認定について可否投票を行った結果、当該委員会の審査結果が承認された。

4 規程等の改廃について

学長から、規程等の改廃に関する申し出があった旨説明の後、企画総務課長から別紙（資料4）に基づき説明があり、種々議論の結果、原案のとおり承認された。

なお、審議において次の質疑応答があった。

・新しい学則において、他大学科目を削除したのかとの質問があり、条文からは他大学科目を削除したが、他大学の科目を履修できないというのではなく、本学の科目を設置基準に併せて、必修科目、選択科目および授業科目の記載として整理しており、他大学の選択科目については引き続き本学の選択科目として単位を認定するという取扱いとなっているとの回答があった。

5 湧別町との包括連携協定締結について

学長から、令和7年12月8日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、川口副学長から別紙（資料5－1～5－2、参考資料）に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

6 タクール工科大学との交流協定締結について

学長から、令和7年11月17日開催の運営戦略会議及び持ち回り開催による地域連携・国際交流委員会の議を経て提案する旨説明の後、研究協力課長から別紙（資料6）に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

報告事項

- 1 令和7年度学内予算の計画的な執行について (管理課長)

次回教育研究評議会 令和8年1月14日（水）午後3時00分開催予定